

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	2177
平成18年度部名	市民部	課名	市民相談課	課長名	小野 栄治
平成19年度部名	市民活力推進部	課名	市民相談課	課長名	小野 栄治
事務事業名	市政モニター事業				
予算上の事務事業名	市政モニター				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				
施策名	第1施策 個性豊かな地域づくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市広報広聴規則 市政モニター要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	なし				
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	調査・研究		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
(1) 市政についての意見や提案等を迅速に収集することにより、施策の参考資料とする。とともに、事業の企画、効果の測定等を行い、市政の効果的な運営を図るために実施する。				(2) 対象(誰、何)	
				市内在住の満16歳以上の人	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
市政モニター数 148人(インターネットコース74人、郵送コース74人) アンケート7回実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「広報活動」について ・「商店街」について ・これからの図書館整備に関するアンケート ・「ヒートアイランド現象の緩和に向けた都市の緑化について」 ・「今後の居住動向に関する意識」について ・「地球温暖化防止」について ・ごみの減量等に関するアンケート 					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他自治体においても同様の事業が実施されている。				
8 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	695	523	486	667	667
一般財源	695	523	486	667	667
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	3,631	3,608	3,359	3,359	3,359
事業コスト合計	4,326	4,131	3,845	4,026	4,026
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	市政モニター事業			対象名称 と単位	アンケートの実施回数 (回)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	4,326	4,131	3,845	4,026	4,026
対 象 数	11	10	7	6	6
単位あたり経費(円)	393,273	413,100	549,286	671,000	671,000
前 年 度 比		1.05	1.33	1.22	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	モニター充足数（％）	指標式と指標の説明		モニター採用者÷モニター定員×100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	60.0	60.0	148.0		
目標	60.0	60.0	200.0	200.0	200.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	74.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	アンケートの回収率（％）	指標式と指標の説明		アンケート回収総数÷（モニター数×アンケート数）	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	911.0		
目標	0.0	0.0	1024.0	1200.0	1200.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	89.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		緊急なアンケートにも対応できる制度として、今後も必要な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
回収率を更に高め、サンプル数の増加による精度の向上を図る。			アンケートの送付方法については、特にメールモニターへの送付手段の見直しを行う必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			